

朝風

平成28年10月31日

後期生徒会役員決定

後期の生徒会役員に6人が立候補し、立ち会い演説会と投票が行われました。会長には1名、副会長には男子1名、女子4名の立候補がありました。それぞれが、責任者を立てて演説を行い、自分の目指す大曲南中学校について堂々と意見を述べてくれました。投票の結果、女子の副会長は過半数に満たず、決選投票を行い次のように決まりました。



生徒会長	2年	佐々木万穂		
副会長	2年	最上 純聖	2年	佐々木愛香
総務所属	2年	吉川 晴菜	2年	石塚 そら
	1年	坂本 和		

一人一人の決意表明の一部を紹介します。



生徒会長 2年 佐々木万穂

- ・いつ誰に対しても、挨拶やコミュニケーションがとれる南中生にしたい。
- ・様々な行事や活動に、皆さんの意見を取り入れよりよい生徒会をつくりたい。
- ・南中のよさを増やし、地域に更に貢献できるようにしたい。



生徒会副会長 2年 最上 純聖

- ・毎日楽しく過ごせる学校にしたい。
- ・コミュニケーションの一つとして挨拶を徹底させ、する側もされる側も気持ちよくなるようにしたい。
- ・昨年度と同じではなく、新たなことに挑戦することで行事をよりよくしたい。



生徒会副会長 2年 佐々木愛香

- ・各委員会が、今までの活動にとらわれずに新しいアイデアを出すように、情報交換を積極的にしたい。
- ・コミュニケーションの基本である挨拶を大事にし、一人一人が気持ちのよい挨拶ができるように声かけや企画作り、そして自分自身も手本になるようにしたい。



生徒会総務 2年 吉川 晴菜

- ・私たちの目標であるコミュニケーションを活発にするためにはまず、挨拶をよくしたい。
- ・委員会の横のコミュニケーションを活発にし、今のままではなく発展した取組を考え計画を立てたい。
- ・朝集会で自主発表する人を増やし、より充実させたい。



生徒会総務 2年 石塚 そら

- ・南中の挨拶をよくするために、こんな挨拶をしたいという目標を紙に書き、地域に配ることで責任をもちたい。
- ・自分自身も挨拶を頑張り、普段応援してくれている人達に元気な挨拶で恩返ししたい。
- ・生徒会長や他の役員をサポートを頑張り、みんなで力を合わせて一人一人が活躍できる中学校生活になるようにしたい。



生徒会総務 1年 阪本 和

- ・自分がいろいろな方に助けられていることに感謝し、みんなのために自分が役に立つことをしたい。
- ・互いの個性を尊重しつつ全員が主役となり、協力し合って創る学校の実現を目指したい。



大曲仙北社会科教育研究会を終えて

26日に、本校を会場として大曲仙北社会科教育研究会が行われました。小学校と中学校の会員併せて約100名が来校し、3年生の社会科の授業を見ていただきました。「大仙市のベストな財政配分について、効率と公正の観点から自分の根拠をもち考察してまとめる」という内容の授業です。たくさんの先生方に囲まれながらも、グループ討議では活発な意見交換が行われ、参観した先生方も感心していました。また、指導主事の先生からは、「資料等から根拠を明確にして自分の意見を述べる姿や、他の意見と比べて批判的な視点で自分の考えを再考できる姿に成長を感じる」というお褒めの言葉をいただきました。本校で取り組んでいる研究の成果が、3年生のよい姿として評価されたことを大変うれしく思います。また、生徒達が「大仙市のよりよい未来について考える姿がとても頼もしく感じられました。」



言葉をいただきました。本校で取り組んでいる研究の成果が、3年生のよい姿として評価されたことを大変うれしく思います。また、生徒達が「大仙市のよりよい未来について考える姿がとても頼もしく感じられました。」

体育で剣道のTT授業を実施

19日から、県の「平成28年度武道等指導推進事業」を活用し、体育の剣道の授業でTT指導を行いました。体育で武道が必修化されていますが、県内で剣道を実施している学校は限られています。本校は、地域の特色を生かそうということで、防具も全生徒分用意して剣道を選択しています。体育の担当が剣道の専門家ではありませんので、こうした事業を活用し、生徒達に専門的な指導を行うことは大変意義のあることだと感じています。今回の指導者は、横手高校の目黒大祐先生です。プロの先生の指導は生徒達を引きつけ、楽しみながら生き生きと活動する様子が見られました。



10月の読み聞かせ



1年生「だんまりこおろぎ」
齋藤 明 先生



2年生「おべんとう」
後藤 淳 先生



3年生「お月さん ももいろ」
齋藤涼子 さん